



2026年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月10日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東
 コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野本洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐 TEL 03-5312-6247
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第1四半期の連結業績 (2025年8月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年7月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	489	△5.2	△4	—	△6	—	△8	—

(注) 包括利益 2026年7月期 第1四半期 △6百万円(-%) 2025年7月期 第1四半期 33百万円(89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年7月期第1四半期	円 銭 △5.54	円 銭 —
2025年7月期第1四半期	21.69	21.58

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年7月期第1四半期	百万円 4,088	百万円 1,113	% 27.1
2025年7月期	4,012	1,147	28.4

(参考) 自己資本 2026年7月期第1四半期 1,106百万円 2025年7月期 1,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00
2026年7月期	—	—	—	—	—
2026年7月期(予想)	0.00	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 2,550 ~3,050	% 0.2 ~19.9	百万円 275 ~325	% —	百万円 250 ~300	% 796.6 ~976.0	百万円 160 ~200	円 銭 105.90 ~132.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年7月期1Q	1,524,700株	2025年7月期	1,524,700株
2026年7月期1Q	13,816株	2025年7月期	13,816株
2026年7月期1Q	1,510,884株	2025年7月期1Q	1,507,781株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における経営環境につきましては、世界的には主要国で金融引き締めの長期化が続く一方、一部地域では利下げ局面への移行も見られるなど、金融政策は転換期を迎えております。物価上昇は鈍化傾向にあるものの依然として高水準で推移しており、為替相場の変動や地政学リスク等の不確実性が世界経済の下押し要因となっております。

国内におきましては、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費が堅調に推移しております。訪日外国人旅行者数も前年を上回るペースで増加しており、観光関連需要の回復が継続しております。このような環境下、景気は緩やかながらも持続的な回復基調を示しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は489,402千円（前年同期比5.2%減）、営業損失は4,218千円（前年同期は43,452千円の営業利益）、経常損失は6,705千円（前年同期は48,663千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,376千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益32,709千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(旅行業)

クルーズ業界におきましては、国土交通省が公表した「2024年の我が国のクルーズ等の動向について」によれば、日本人のクルーズ人口は22.4万人となり、コロナ禍前である2019年（35.7万人）の約63%までの回復にとどまっております。一方、同省は2030年までに日本のクルーズ人口を100万人規模へ拡大する目標を掲げており、中長期的には需要拡大が期待される状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、2026年ゴールデンウィーク発コスタセレーナ金沢発着チャータークルーズをはじめ、同時期出発のMSCベリッシマ、2026年発のダイヤモンド・プリンセス、冬季那覇発着のMSCベリッシマなど、主要商品の販促活動を強化してまいりました。なかでも、当社の今年度の重点施策であるコスタセレーナ金沢発着チャータークルーズにおいては、石川県を中心に活動するMC・モデル・ラジオパーソナリティである越村えり氏を公式アンバサダーとして起用し、北陸地域を中心に認知度向上を図りました。また、代理販売先の拡大にも取り組み、販売チャネルの多様化と販売力の一層の強化を進めております。さらに、その他のクルーズ商品においても、お得なキャンペーンや割引プランを随時投入することで、幅広い顧客層の獲得を促進し、予約受注額の拡大につなげました。

以上の結果から、売上高は483,342千円（前年同期比5.4%減）、セグメント損失は6,137千円（前年同期は42,688千円のセグメント利益）となりました。

(その他事業)

子会社のえびす旅館におきましては、引き続きインバウンド需要が継続的に増加しており、ADR（客室平均単価）、稼働率の更なる回復が見られました。

以上の結果から、売上高は6,061千円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は1,918千円（前年同期比151.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて75,963千円増加し、4,088,543千円となりました。これは主に、その他流動資産が116,475千円、旅行前払金が58,873千円減少した一方で、投資有価証券が126,837千円、現金及び預金が103,882千円増加したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて109,727千円増加し、2,975,267千円となりました。これは主に、株主優待引当金が32,560千円、長期借入金が28,183千円減少した一方で、契約負債が163,349千円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて33,764千円減少し、1,113,275千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益から配当金を控除することで利益剰余金が35,572千円減少したことによります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期(通期)の連結業績予想につきましては、2025年9月10日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,503,182	2,607,065
旅行前払金	674,915	616,042
未収入金	125,830	144,196
その他	151,379	34,904
流动資産合計	3,455,308	3,402,208
固定資産		
有形固定資産	132,656	131,862
無形固定資産		
のれん	29,254	28,334
その他	96,935	98,477
無形固定資産合計	126,190	126,812
投資その他の資産	296,672	426,210
固定資産合計	555,519	684,885
繰延資産	1,751	1,449
資産合計	4,012,580	4,088,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	490,561	492,425
未払金	10,192	16,113
未払法人税等	6,529	4,612
賞与引当金	-	5,212
契約負債	666,552	829,901
その他	51,902	15,371
流動負債合計	1,225,737	1,363,636
固定負債		
長期借入金	1,628,558	1,600,375
その他	11,243	11,256
固定負債合計	1,639,802	1,611,631
負債合計	2,865,540	2,975,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,405	570,405
資本剰余金	486,905	486,905
利益剰余金	119,526	83,953
自己株式	△35,362	△35,362
株主資本合計	1,141,475	1,105,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,205	602
その他の包括利益累計額合計	△1,205	602
新株予約権	6,770	6,770
純資産合計	1,147,039	1,113,275
負債純資産合計	4,012,580	4,088,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)	(単位:千円)
売上高	516,476	489,402	
売上原価	380,350	377,111	
売上総利益	136,126	112,291	
販売費及び一般管理費	92,673	116,509	
営業利益又は営業損失(△)	43,452	△4,218	
営業外収益			
受取利息	597	2,489	
為替差益	7,213	-	
その他	526	1,002	
営業外収益合計	8,338	3,492	
営業外費用			
支払利息	2,045	5,588	
為替差損	-	74	
新株予約権発行費償却	377	302	
その他	704	13	
営業外費用合計	3,126	5,979	
経常利益又は経常損失(△)	48,663	△6,705	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48,663	△6,705	
法人税等	15,954	1,671	
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,709	△8,376	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	32,709	△8,376	

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失（△）	32,709	△8,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	357	1,808
その他の包括利益合計	357	1,808
四半期包括利益	33,066	△6,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,066	△6,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年8月1日 至 2024年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	旅行業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	510,680	5,796	516,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	510,680	5,796	516,476
セグメント利益又はセグメント損失(△)	42,688	764	43,452

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年8月1日 至 2025年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	旅行業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	483,342	6,061	489,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	483,342	6,061	489,402
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△6,137	1,918	△4,218

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、旅行業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しておりましたが、開示情報としての重要性が増したため「旅行業」及び「その他事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	4,692千円	5,039千円
のれん償却費	920千円	920千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。